

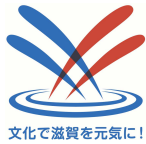
文化 de けいざい 経済 de ぶんか ニュース&にゅーす 第12号 (2011年10月14日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局 (大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

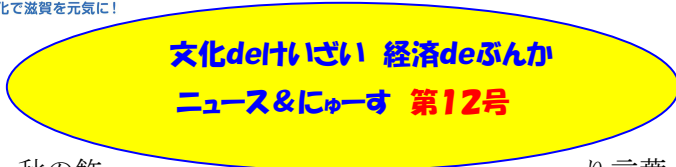
TEL 077 (522) 8369 fax 077 (522) 9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化で滋賀を元気に!



季節は移ろい、秋になりました

た。秋の飾

り言葉、どれほどあるでしょう。読書の

秋、芸術の秋、スポーツの秋、行楽の秋、紅葉の秋…ときて、オツと忘れてはいけない食欲の秋でしょうか。会員の皆さんには、どんな秋でしょうか。

いよいよ、「2011文化で滋賀を元気に!賞」の募集が始まりました。13日午後、びわ湖ホールで開催しました第4回部会長会議の最初の議題は、応募状況について一でした。副賞は彫刻家・富樫実氏(成安造形大名誉教授)のトロフィーです。カルチャーの「C」をモチーフに琵琶湖のさぎ波が表現されています。素材は樺摺り漆仕上げです。大賞1点、各賞5点に表彰状と一緒に贈呈します。9月8日、副賞披露と合わせ、募集の記者発表を行い、京都、朝日、毎日、日経、読売に載りました。中日さんも1ヶ月遅れですが、今日14日付けで載りました。

応募件数ですが、14日現在で自薦1件、他薦8件です。締め切りは11月8日(火)です。事務局としては、50件の応募を目標にしています。この日の部会長会議では、これからの見通しが話題になりましたが、事業団、成安大など事務局サイドで努力すれば、他薦で20件以上は確保できそうと、手ごたえを掴みました。来週18日(火)には旧滋賀会館前のレストラン「エンプティ」で広報部会を開き、部会員の皆様にも他薦の呼びかけをしますが、会員の皆様にも協力をお願いしたいと思います。記者会見で募集のコンセプトがわかりにくいという質問がありましたが、募集チラシのリード部分を再録してみます。



～毎日の風景の中で当たり前となっているけれども、ささやかな心遣いが地域を元気にしているもの、何気なく取り組まれていることが地域の活力につながっていることがあります

ます。これらを見出していくことが賞の狙いです～

事務局の福本さんを書いてもらいましたが、大向こうを唸らすようなことでなく、普通にやっている地道な活動、それでいて地域にとって存在感があり、どこか温もりを感じるようなイベントであったり、出来事であったり…そんなものを幅広く、賞候補として取り上げることが出来れば…と思っています。賞の候補者推薦書は事務局などにありますが、滋賀県文化振興事業団ホームページの<文化経済フォーラム滋賀>をクリックして、入ってもらえば、ネットで書き込むことが出来るようになっていきます。一応、チラシの表裏を写真掲載しておきます。



最初に述べました部会長会議ですが、木村代表幹事が途中で「今日は何時までですか？」と質問があり、～午後5時半までです～と答えますと、6つの議題はそのとおり、会議はストップウォッチで計ったごとく、ピタリと午後5時30分で終わり、見事に着地が決まりました。世界体操男子の団体もかくあれば…と思うほどです。少し脱線しましたが、以下に主なことを順次、書きます。

第2回と第3回の文化経済サロンの開催が以下のとおり決まりました。企画部会の担当のびわ湖ホール・江島さんから発表がありました。

<第2回> 11月4日(金) 18:00～ びわ湖ホール研修室

テーマは竹生島で9月に開催した「建築学生ワークショップ滋賀2011」で、**事務局を担当した古川きくみさん(NPO法人AAF代表理事)**がビデオを使って講師を努め、文化・経済フォーラム滋賀副代表幹事の中井さん(琵琶湖汽船社長)がコメントします。

<第3回> 12月2日(金) 14:00～ 県民交流センター(ピアザ淡海内)

テーマは「文化とまちづくり」(仮称)で、**文化政策の国際比較を専門とする河島伸子さん(同志社大経済学部教授)**が講師です。県公立文化施設協議会との合同開催です。

ともに無料です。企画部会員はじめ、会員のみなさんの参加を宜しく願います。講演のあと、懇談の場があります。

総会は来年2月11日(祝)16:00から琵琶湖ホテルでの開催は、既にお知らせしましたとおりですが、**講演は大原美術館理事長の大原謙一郎氏**に決まりました。大原氏は神戸市生まれ、東京大学経済学部卒、



エール大学大学院博士課程を修了されておられます。びわ湖ホール評議員でもあります。昨年岡山であった国民文化祭に絡んで、岡山文化連盟の立ち上げなどに尽力されました。講演テーマはこれからですが、岡山経済同友会代表幹事などのご経験もあり、文化と経済の関わりなどについて、お話をしてもらえるのではと今から楽しみです。

議題による主な決定事項は以上ですが、▽2012年会員の入会手続き▽10月27日に横浜で開催の全国メセナネットワークへの参加▽京都で開催の国民文化祭の状況▽抱きしめてBIWAKOの参加要請などの報告がありました。成安造形大の加藤さんからは近江屋調査研究で、京都新聞に続いて、読売新聞にも載ったこと、週刊文春9月号ではB級重大ニュースとして取り上げられたことなど報告がありました。どう仕上げていくかですが、マスコミ受けしているようです。

部会長会議というのは、代表幹事の下に経営、企画、広報の3部会長とスタッフで構成する1ヶ月に1回、毎月第2木曜に開催しています。この日の第4回会議は馬場広報部会長が欠席でしたが、木村代表幹事、中村経営部会長、井上企画部会長、スタッフは県文化振興課の磯間さん、びわ湖ホールの江島さん、西川さん、浅野さん、成安造形大の加藤さん、石川さん、文化振興事業団の満田さん、福本さん、有田さんが出席しました。

<以上文責 岸野>